



ライジングゼファーフクオカ フレンドリータウンに関する協定締結

1月24日にプロバスケットボール男子Bリーグ2部(B2)のライジングゼファーフクオカとフレンドリータウンに関する協定締結式を行いました。

この協定は、相互に連携・協力しスポーツ文化の振興、地域の活性化を実現することを目的としたものです。

今回の協定でバスケットボールを中心にスポーツを通じ町民の健康増進やスポーツ文化の振興、地域の活性化に取り組んでいきます。今後、ホームゲームでの新宮町応援デーや町内での選手やコーチによる小・中学生を対象としたバスケットボール教室を実施する予定です。



▲左からライジングゼファーフクオカ古川社長、桐島町長、寒竹選手

新宮町 DREAM 吹奏楽団 九州アンサンブルコンテスト出場へ

令和5年12月24日にイヅカコスモスコモン(飯塚市)で開催された「第17回福岡県アンサンブルコンテスト」の職場・一般の部に町文化協会所属の新宮町 DREAM 吹奏楽団のクラリネット四重奏が出場し、金賞を受賞しました。

町長に出場報告として訪問した際は「コンテストに向け楽団が一丸となり、日々練習に励んでいる」と話していました。

2月11日には、佐賀市文化会館にて開催された「第49回九州アンサンブルコンテスト」に県内21団体中の3団体に選ばれ出場し、見事3位に入賞しました。



▲町長に表敬訪問をした楽団のみなさん

大切な文化財を火災から守りぬく

文化財防火デーに合わせ、新宮町消防団と粕屋北部消防本部合同の防火演習が、1月28日に国指定重要文化財「横大路家住宅(千年家)」で行われ、約50人が参加しました。

昭和24年1月26日に奈良県の法隆寺金堂が炎上し、壁画が焼損したことを教訓に文化財防火デーが制定され、全国各地で文化財防火運動が展開されています。

この演習は、千年家東側雑木林から出火し、建物に延焼するおそれがあるとの想定で実施し、駆けつけた消防隊員と消防団員が連携して放水するなど、本番さながらに真剣な表情で取り組んでいました。町消防団落石団長は「これからも、地域の貴重な財産は自分たちの手で守っていきたい」と話していました。



▲千年家での防火演習の様子

県大会出場！

11月12日にクロスパルこがで「第24回全日本中学生バドミントン選手権大会筑前地区予選会」が開催されました。町スポーツ協会所属新宮ジュニアバドミントンクラブの藤川優花さん(下府1)と藤川穂香さん(下府1)は中学生女子ダブルスの部で4位になり、12月2日に大川市民体育館で行われた福岡県選考会に出場することができました。



▲双子で見事県大会

箱根駅伝で疾走！

1月2日、3日に開催された第100回東京箱根間往復大学駅伝競走に占部大和さん(山梨学院大学1年・新宮東中卒)が出場しました。昨年春に大学に進学し、1年生にして見事選手に選ばれ、ゴールまで走り抜けました。占部さんは「沿道の応援が物凄く多くて緊張したけど15kmまで楽しく走れました。来年はもっと前の順位で勝負します！」と力強く語っていました。

【総合】山梨学院大学23位(11時間11分11秒)

【個人】19位(10区出走、1時間11分03秒)



▲沿道の声援のもと駆け抜ける占部さん

新宮中学校ソフトテニス部 九州大会出場！

12月26日、27日にパークドーム熊本にて「九州ジュニア選抜インドアソフトテニス大会」が開催されました。男子個人戦ダブルスでは見事、中島陸さん(下府2)・竹之内大樹さん(中央駅前)ペアが優勝しました。男子団体戦でも、中島さん・竹之内さんペアがファイナルゲームで競り勝ち優勝を決めることができました。

女子個人戦ダブルスでは鴨川未優さん(上府)・野田ひまりさん(下府2)ペアが県代表として出場しました。初戦から強豪との対戦となり、最後まで諦めないプレーで大健闘しました。2人は「この経験を糧に、目標である団体戦での九州大会出場に向けて日々の練習をがんばります」と意気込んでいました。



▲団体戦、個人戦ともに優勝



▲1年生ながら九州大会に出場した鴨川さんと野田さん



Beat 女子 U15、 経験を積み重ねて進化中！

12月31日に照葉積水ハウスアリーナ（福岡市）で行われたライジングゼファーフクオカの前座試合「エキシビジョンゲーム」に町スポーツ協会所属 Beat 女子 U15 バasketボールクラブが参加しました。同クラブは数々のカップ戦で上位の成績を収め、中でも「九州クラブ U15 バasketボールゲームス 2023」では3位となりました。このような日ごろの活躍が前座試合への参加につながりました。部員たちはさまざまな経験を積みながらグングン成長を続けています。



▲憧れの舞台でのプレーを終えた選手たち

福岡国際マラソン2023を 走りました

12月3日に開催された福岡国際マラソン2023に阿部浩之さん（夜臼1）が出場しました。阿部さんは昨年の別府大分毎日マラソンを2時間29分49秒で走り、福岡国際マラソン参加資格の2時間35分以内の上位400人に入り、初出場を果たしました。

阿部さんは「38歳にして憧れの福岡国際マラソンに出場することができました。福岡市中心部を途切れぬ声援の中、走れたのは最高の時間でした」と語っていました。

【大会結果】 第119位（2時間31分22秒）



▲初出場で力強い走りを見せた阿部さん

大人も子どもも一緒になって遊びました

1月29日にそぴあしんぐうにて、町の家庭教育支援事業を委託しているまちづくり団体の rainbow house が運営する「遊びのひろば」が開かれました。「遊びのひろば」は毎月1回親子の居場所づくりを目的として開催しています。今回は子ども約30人、大人約20人が参加し、ウクレレ体験や万華鏡づくりを行いました。積み木やボードゲーム、おままごとセットやブロックなど黙々と集中して遊ぶものから滑り台やトンネル、玉入れなど体を動かして遊ぶものまでさまざまなものが用意されており、小さな子どもから大人まで、各ブースで楽しむ姿が見られました。

参加した保護者からは「雨でも走り回って遊べる場所があったてありがたい」との声が聞かれ、rainbow house 代表の西河さんは「みんなの笑顔に元気をもらえた。子どもも大人もみんなと一緒に育っていく居場所づくりを今後もしていきたい」と語っていました。



▲パパと勝負だ！



▲どちらが多く玉を入れられるか勝負だ！

令和6年能登半島地震の支援について

このたびの大地震により被災されたみなさまに、心からお見舞い申し上げます。

1月1日に発生した令和6年能登半島地震で被災された人たちを支援するため、飲料水や食料など町の備蓄物資の一部と追加購入した紙おむつや生理用品などの生活物資を、1月15日に石川県能登町に送りました。久山町と共同で提供した10トントラック1台分の物資は、翌々日の1月17日に目的地に到着し、能登町役場から被災された人たちの元に届けられました。

また、役場、福祉センター、シーオーレ新宮、そぴあしんぐうに義援金箱を設置しています。みなさまのあたたかいご支援とご協力をおねがいします。



▲支援物資を被災地へ

新宮町から届けた物資

飲料水	1,368本
アルファ化米	600食
長期保存パン	1,440食
長期保存クッキー	1,024箱
紙おむつ(子ども用)	43袋
紙おむつ(大人用)	33袋
生理用品	194袋
ポリ袋	360枚
手指消毒ジェル	50本
サージカルマスク	5,000枚

このほか久山町からは、ウエットティッシュ、毛布、簡易トイレなどが届けられました。



◆ ゼロカーボンシティ新宮 ◆

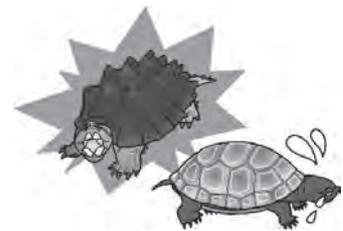
わたしたちや在来生物を守るために、今から行動を！

地球温暖化の影響は、生き物に絶滅のおそれが生じることだけではありません。

病気の原因となる微生物を運ぶ生き物や、今まで住んでいた生き物のすみかを奪ってしまう生き物が増える可能性があります。

デング熱やマラリアなどの感染症は、病気の原因となる微生物をもつ蚊に刺されることによって発症し、熱帯地域を中心に流行していますが、地球温暖化が進むと蚊が生息できる場所が北上するなど、温帯地域の日本でも流行する可能性が高くなります。

また、地球温暖化が進むと暑い地域を好む外来生物にとって住みやすい環境になるため、今まで住んでいた在来生物からすみかを奪い、広い地域に住みついてしまう可能性があります。



地球温暖化が進むと40℃を超える日があると言われていたのに、蚊に刺されないように長そで・長ズボンを着ないといけなくなると、暑くてたまらないね。

そうならないように、地球にやさしい行動をとって地球温暖化が進まないようにしないといけいないね。



【参考：福岡県地球温暖化対策ワークブック】

問い合わせ先 役場環境課 ☎963-1732 (直)